

人物語り

ひとものがたり

子ども達への英語指導で

意欲的に活動

鈴木 亜美さん



PROFILE

1964年12月、フィリピン・マニラ市生まれ。
1986年マプア工業大学(MIT)電子・通信工学科を卒業。同年電子工学系大学講師となり、エンジニアの免許を取得。
1988年青年海外協力隊のメンバーとして同大学に派遣された日本人男性と結婚し日本へ。現在松尾町本柏在住。

今年の夏、大平保育所で実施された英語教室。ヘッドセットをし、カードやCDを使用しながら本格的な授業を園児に展開指導するのは、フィリピン・マニラ出身の鈴木亜美さんです。



大平保育所での英語教室

「最初は日本とフィリピンの文化の違い、言葉の壁に戸惑うことが多かったです。話すことはどうにか出来るようになりまして、特に漢字は今でもわかりません。来年子どもが、小学校に入学するので漢字の基礎を今度こそは一緒に勉強しましょう。」と話します。

長女が幼稚園に入る前、いくつかの幼稚園を見学しました。私立の幼稚園であった英語の時間が、選んだまっおこども園ではなかったのでしょうか？と思いつつ、「小さい頃から英語に興味をもたせたいので、わたしでよかつたら英語教室をしませんか。」と幼稚園の先生に相談。平成20年5月から4・5才児を対象に。また、平成21年5月からは大平保育所でも英語教室を実施しています。

子ども達の反応は

『グッバイ』『シーユー』『また来てね』と言ってくれるので、楽しんでいられるのかなと思います。』

1時間の授業の間子どもを退屈させない方法は

「園児の興味がある歌をうたったり、ゲームをしたり時には、パソコンを使いパワーポイントでひと工夫します。だから授業のある前日は準備で大忙しです。疲れも感じるけれど、子ども達からパワーをもらっているんです。『もっと習いたいよ』『もっと教えてよ』と子どもの目が訴えてくるので、それに答えたいので力はぬけません」と、教師としての熱意が伝わってきます。

その他の活動は

匝瑳市の5つの小学校でも今年から外国語活動として、主に5・6年生に英語を教えています。また、パソコン教室、6年目を迎えた大人

のための英語教室など忙しさを極めます。

今後の夢は

すきとおったソプラノの声を生かし、現在横芝キリスト教会のバンドと聖歌隊のメンバーとして奉仕活動をしている鈴木さん。「将来は、歌を通して英語の楽しさを教えた、い、伝えたいです。英語が解れば色々な人とふれあいコミュニケーションがとれるので。また、子ども達と一緒に成長できたらいいなと思います。」



大人のための英語教室の皆さんと